

SAUBERE SACHE Facts

2

リネン品質管理協会からの最新情報です。

危険性のある
病原体を含む
リネンの取扱い



危険性のある病原体を含む リネンの取扱い

この「Clean Cases Facts」の目的は、洗濯物が発生する医療施設と洗濯物を処理するテキスタイルサービス会社の両方に対して、シンプルで明確な行動のための推奨事項を提供することです。これは「ポジティブリスト」であり、個別の対応が必要な病気や病原体、あるいは経験上誤分類が多い病気や病原体のみがリストアップされています。

例えば病院や老人ホームのリネンでは、潜在的な病原体がリネンサプライ会社に大量に入り込んできます。したがって、洗濯工場で働くスタッフは、適切な保護措置によって感染から守られる必要があります。いずれにしても、リネンを衛生的にお客様にお届けできるよう、消毒を行う必要があります。

RAL品質マーク992/2-4を持つリネンサプライ会社

では、包括的な衛生対策と衛生仕様が中立的な機関によって定期的に厳しく監視されており、汚染されたリネンを確実に消毒する洗濯工程で衛生的に完璧な処理を保証しています。

危険な病原体に汚染された可能性のある洗濯物は、危険度に応じて分類されます。この危険度は、病気の重症度と病原体の感染力だけでなく、その病原体がリネンを介して伝達されるかどうかによっても決まります。

リネンが混ざると菌の拡散を否定できないため、医療施設からの洗濯物はすべて最初から感染の疑いがあるとみなし（以下のカテゴリー「グリーン」）、そのように処理する必要があります。以下の「レッド」「オレンジ」「イエロー」のカテゴリーに分類される個々のケースに限り、個別の対策が必要です。

備考

本号は、近年多く利用されている洗濯工場に潜む危険な病原体に関するホーエンシュタインランドリーインフォメーションNo. 206に代わるものです。

ウイルスや細菌を含む 感染性の高いリネン

▶ご注意ください！

ここに挙げた病原菌は、中欧では極めて稀にしか発生しませんが、あらゆる手段を講じてその蔓延を防ぐ必要があるため、特に注意が必要です。

病気	病原体
コレラ	コレラ菌
出血熱	エボラ、ハンタ、ラッサ、マールブルグ
炭疽菌	炭疽菌
ペスト	ペスト菌
狂犬病	リッサウイルス
ツラレミア（ウサギペスト）	ツラレンシス菌
鼻水	バークホルデリア

どうしたらよいのでしょうか？

発生場所：

感染性の高いリネンは、発生場所で直接前処理をして不活性化するか（例：オートクレーブ）、リネンを廃棄する（適切な容器に包装し、熱破壊する）必要があります。

▶ この洗濯物は、絶対に直接洗濯機に入れてはいけません！

洗濯工場：

感染性の高いリネンは、決して直接洗濯機に入れないようにしてください。もしあるとすれば、発生場所で不活性化された後だけです。

リネンを受け入れる前に、不活性化が行われたことを確認します。

このリネンは、不活性化処理後、感染の疑いがあるリネン（グリーンカテゴリー）として扱われます。

寄生虫や害虫を含む 感染性リネン

▶個別処理

これらの病原体は多細胞生物や動物であり、個別処理によって死滅させる必要があります。

病気	病原体
アタマジラミの蔓延（シラミ）	ヒト属の一種 頭蓋炎
疥癬（かいせん）症	疥癬ダニ
酸素欠乏症（蟻虫感染）	オキシレン 蛭子病
赤痢/HUS（溶血性尿毒症症候群）	アメーバ
豚条虫感染症	有鉤条虫

どうしたらよいのでしょうか？

発生場所：

多細胞生物/動物の感染性リネンは、別々のプラスチック袋（通常黄色、壁厚0.08mm以上）に入れ、明確にラベル付けする必要があります。袋に病気・病原体を記入し、適宜、リネンサプライ会社にお知らせください。

洗濯工場：

これらの病原体（寄生虫・害虫）を含むリネンは、洗濯機内での持ち越しを避けるため、洗濯脱水機（WSM）で洗濯する必要があります。RKI リストの化学熱処理または熱洗濯工程（ $\geq 60^{\circ}\text{C}$ ）を使用する必要があります。洗濯前に特殊な前処理を行い、病原体を安全に死滅させれば、感染の疑いがあるリネン（グリーンカテゴリー）として扱われます。

ウイルスや細菌を含む 感染性リネン

個別処理

この種の病原体に汚染されたリネンの場合、病原体のさらなる拡散を防ぐための配慮も必要です。したがって、リネンを発生場所ですでに液密封されたラベル付きの袋に梱包する必要があります。

また、これらの病原体を排水に流してはならないことも特筆すべき点です。したがって、RKIリストに登録された洗濯工程による効果的な消毒は、洗濯液を初めて排出する前に行う必要があります。

病気	病原体
エイズ ¹	HIV (ヒト免疫不全ウイルス)
ジフテリア	ジフテリア菌
下痢 - ノロウイルス/ノーウォークウイルスによるもの	ノロウイルス/ノーウォークウイルス
下痢 - ロタウイルスによるもの ²	ロタウイルス
下痢 - サルモネラ菌によるもの ²	サルモネラ菌
下痢 - 赤痢菌によるもの ²	赤痢菌
下痢 - エルニシア菌によるもの ²	エルニシア菌
肝炎 ²	肝炎ウイルスA、B、C、D、E
結膜炎	アデノウイルス
ハンセン病	らい菌
レプトスピラ症	レプトスピラ
髄膜炎/脳炎	髄膜炎菌、インフルエンザ菌
パラチフス ²	パラチフス菌
オウム病	オウム病クラミジア
Q熱	コクシエラバーネティ
結核 (活動性)	マイコバクテリア 特に結核菌
腸チフス ²	チフス菌

¹ リネンが体液で汚染されている場合

² リネンが糞便や体液で汚染されている場合

ウイルスや細菌を含む 感染の疑いがあるリネン

消毒洗濯

RKIのガイドラインやドイツ法定労災保険 (DGUV) の定義によると、医療施設からのリネンは少なくとも感染の疑いがあると分類する必要があります。

ただし、上記のレッド、オレンジ、イエローの категорияに属する病原体や病気は例外であり、別々に扱う必要があります。グリーンカテゴリーの病原体は、その必要はないが、誤って分類され、感染性リネンとして扱われることが多いため、以下に記載しました。

病気	病原体
ブルセラ症	ブルセラ菌
新型コロナウイルス感染症	重症急性呼吸器症候群コロナウイルス
クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD)	プリオン
変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 (vCJD)	
伝染性海綿状脳症 (TSE)	
下痢 - クロストリジオイデス・ディフィシルによるもの	ディフィシル菌
下痢 - 病原体不明	---
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌
インフルエンザ	インフルエンザウイルス
多剤耐性菌による感染症	MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)
	MRGN (多剤耐性グラム陰性菌)
	VRE (バンコマイシン耐性腸球菌)

! 上記の表に記載されていない病気・病原体に汚染されたリネンは、感染の疑いがあるリネン (グリーンカテゴリー) として扱うことができます。

どうしたらよいのでしょうか？

発生場所：リネンは感染の疑いがあるため、個別にラベルを貼る必要はありません。RAL品質マーク992/2-4を持つリネンサプライ会社では、このリネンは有効範囲A/Bの消毒方法で洗濯されていることが実証されています。感染の疑いがあるリネンは、液密な袋に入れますが、感染したリネ

ンが入っている袋と明確に区別できるようにします (カテゴリー：イエロー/オレンジ)。

洗濯工場：感染の疑いがあるリネンは、有効範囲A/Bの明らかに消毒効果のある洗濯工程 (RKIリスト/VAHリスト/IHOリスト) を用いて、連続式洗濯機または洗濯乾燥機で洗濯しなければなりません。RAL品質マーク992/2-4を持つすべてのリネンサプライ会社は、これらの要件を満たしています。

洗濯工場における 労働安全

注意事項

知る価値あり

病院リネンの定義

DGUV規則 100-500：ドイツ法定労災保険：
第2.6章 洗濯工場の運営、2007年版より抜粋：

病院リネンとは、病院や家庭での看護・病棟における病人の診察、治療、介護、看護を行う際に発生するリネンのことです。

病院リネンには、医療研究室や病理解剖室の使用済みリネン、その他の場所で発生する感染性リネンも含まれます。

3.10.2項「感染性リネン」を参照してください。
その他の分野には、以下のものが含まれる場合があります。

- ・ 感染性実験動物の保有
- ・ 新たに結合した核酸を用いた研究を行う研究室
- ・ S2/S3研究所

処理するリネンの種類に関係なく、以下の労働安全衛生に関する仕様が適用されます。

不潔エリア／清潔エリアの分離

個人用保護具：

汚れたリネンの処理は、以下のような個人用保護具を使用してのみ行います。

- ・ 撥水コート
- ・ 液密エプロン
- ・ 保護手袋
- ・ ヘッドカバー
- ・ 閉じた頑丈な靴
- ・ 呼吸保護は、他のすべての技術的および組織的対策が尽くされた後の追加的な個人的保護対策となる場合があります。
- ・ 不潔エリア用の保護服は、他の作業着とは異なる色分けをする必要があります。

不潔エリアを離れる：

- ・ 不潔エリアを離れる直前には、不潔な保護服を脱いで手指の消毒を行う必要があります。
- ・ 休憩室や待機室は、微生物に汚染された作業着のまま入室してはいけません。

清潔エリアに入る：

清潔エリアに入る前に清潔な保護服を着用し、手指の消毒も必要です。



衛生管理：品質協会の会員として、必要に応じて衛生上のアドバイスを受けることができます。お問合せは、kontakt@waeschereien.de まで。

Impressum

Herausgeber:

Gütegemeinschaft sachgemäße Wäschepflege e.V.
Schlosssteige 1
74357 Bönnigheim

Telefon: +49 7143 271-562
E-Mail: kontakt@waeschereien.de
Website: www.waeschereien.de

Verantwortlich für Inhalt und Layout:

Gütegemeinschaft sachgemäße Wäschepflege e.V.
E-Mail: marketing@hohenstein.com

Erscheinungsweise: Online

Bildnachweis:

Hohenstein; gettyimages.de; istockphoto.com

© 2022-05-10 | Alle Rechte vorbehalten. Keine Vervielfältigung ohne schriftliche Genehmigung. Für Schäden jeglicher Art, die aus der Verwendung der bereitgestellten Informationen entstehen, übernimmt der Herausgeber keine Haftung.